安全作業手順書【路面清掃Ａ（東名）】

セーフティーバイブル

作成日・改正日	2025/4/1 （前回改正：2024/4/1）	現場名	東名高速道路（豊田IC～春日井IC）
機器工具・車両	スウィーパー	保護具	ヘルメット、安全チョッキ、安全くつ ゴム手袋、軍手、

見積もり基準をした危険性の評価

重大性 (B)	○ 軽微（不休と休業３日以内）	△ 重大（休業４日以上）	× 極めて重大（死亡・障害が残る）
○ ほとんど起こらない（５年に１回程度）	○○（極めて小さい）	○△（かなり小さい）	○×（中程度）
△ たまに起こる（１年に１回程度）	△○（かなり小さい）	△△（中程度）	△×（かなり大きい）
× かなり起こる（６ヶ月に１回程度）	×○（中程度）	×△（かなり大きい）	××（極めて重大）

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例

危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし（様子を見る）
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作業区分		作業手順・作業内容	急所	危険ポイント（～なので～になる）	リスクの見積り (A)	(B)	リスク	安全対策（危険度２以下へ）（私達はどうする）	リスクの再見積り (A)	(B)	リスク
準備工	作業確認	作業の打合せ(KY)を行なう	安全打合書を用いて	手順を間違えて思わぬケガをする	△	×	4	全員で手順書、KYの内容を周知する	○	○	1
		作業員の役割（運転手、助手）を確認する	安全打合書を用いて	/	/	/	/	/	/	/	/
		作業車線を確認する	行程表を用いて	/	/	/	/	/	/	/	/
		交通規制状況を確認する	規制簿を照合しながら	/	/	/	/	/	/	/	/
		しらすんだーの動作確認及び点検を行う	朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする	電池切れて緊急時、逃げるのが遅れる	△	×	4	毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する	○	○	1
	作業車両準備	スウィーパーの燃料量を確認する	必ず車両のメーターを見て	/	/	/	/	/	/	/	/
		スウィーパーへ給水する	水槽バルブを常に注視しながら	誤って塩水を給水する	△	△	3	2人以上で水槽バルブの切替え確認を行なう	○	○	1
				十分に吸水せず、砂煙が立ったり飛石が発生する	○	×	3	吸水状況を確認してから出発する	○	○	1
		作業車線側の吸引口蓋を確認する	ホッパーが上がっていることを確認し	各部品のボルトに緩みが生じ、走行中に落下する	○	×	3	出発前に必ず車両点検する	○	○	1
		ブラシ設置巾を調整する	設置面からの高さに十分気をつけて	カバー設置位置が高く、飛び石が発生する	○	×	3	出発前に高さを十分に確認する	○	○	1
		各作業装置の駆動等の状況を点検する	最小回転数で	/	/	/	/	/	/	/	/
		車両の点検を行う	車両回送手順書に則り	車両回送手順書に則る							
	出発準備	出発時間の打合せをする	高速隊担当者と	/	/	/	/	工程表を必ず提出すること	/	/	/
		50km/h速度制限標の切替時間を確認する	高速隊担当者と	/	/	/	/	/	/	/	/
本作業	出発	基地等、敷地内から車道へと進入する	周囲の安全を補助員と共にしっかり確認して	確認不足により一般車両及び人と接触する	△	×	4	余裕を持って慎重に車道へ流出する	○	△	2
		目的地へ回送する	法定速度を守って	速度超過により事故を起こす	△	×	4	東名及び名二環の法定速度を必ず守って走行する	○	△	2
	路肩移動	回転数を設定して、ブラシの張り出しを行う	周囲の安全をミラー、助手による目視確認を行い	ブラシを張り出す際に、確認が不十分となり 一般車や道路付属物に接触する	○	×	3	運転手だけでなく、助手も含め 十分に周囲を確認してからブラシの張り出しを行う	○	○	1
		ブラシの回転数を調整する	VIPSの登録情報を元に、飛散の可能性のある場所では	①散水忘れにより砂埃がたつ	△	×	4	必ず助手と運転手二人で、 操作の確認を行いながら作業する	○	△	2
		一宮道路管制センターに連絡し、情報板の点灯を依頼する	作業区間通過ごとに	②BOX交差部にて飛び石が発生する	△	×	4	BOX交差部ではブラシを停止させる	○	△	2
	車線転換時		①周囲の安全をミラー、助手による目視確認を行い	確認不足により一般車両及び人と接触する	△	×	4	余裕を持って慎重に車道へ流出する	○	△	2
		①流入及び横断、合流を行う	②路面状況を十分に確認して	/	/	/	/	/	/	/	/
		②車線転換（走行から路肩、路肩から走行等）を行う	③後続及び横側車両との離隔を十分に確保して	車線転換時に一般車への飛び石が発生する	△	△	3	転換時に一般走行車両との離隔を十分に確保して、 離隔が得られない場合は、無理に転換せず回送する	△	○	2
転回時	点検	車体に小石等の飛散物が無いか点検する	周囲状況に注意しながら	タイヤの間に挟まった小石等が 走行中に飛散する	△	×	4	必ずタイヤの点検を適時行う	○	△	2
		タイヤに釘、小石等の挟まり、刺さりが無いか点検する	周囲状況に注意しながら								
帰着	敷地内進入	車道から敷地内へ進入する	後続車の様子を確認しながら	減速に後続車両が気づかず、追突される	△	×	4	必ず後方の確認を行いながら進入する	○	○	1
	駐車	駐車する	バックによる駐車の際は、必ず補助員のバック誘導に従い	バック誘導員を配置せず、後方確認が十分できず 他車両・設備・人等に接触する	×	△	4	必ずバック誘導員を配置し、後方及び 周囲の確認を行いながら駐車する	○	△	2
後片付け	検量	三好ICにて検量を行う	周囲の車両に十分注意して	減速に後続車両が気づかず、追突される	△	×	4	必ず後方及び周囲を確認しながら検量する	○	○	1
	洗車準備	豊田基地にて土砂を下ろす	安全ストッパー、輪留めがかかっているか確認して	作業時、車両・ホッパーが動き出し接触する	○	×	3	必ず二名以上で互いに確認をしながら作業する	○	○	1
		水タンクの残水を抜く	安全ストッパー、輪留めがかかっているか確認して	作業時、車両・ホッパーが動き出し接触する	○	×	3	必ず二名以上で互いに確認をしながら作業する	○	○	1
	洗車	車体・ホッパー・機械部を洗浄する	安全ストッパー、輪留めがかかっているか確認して	洗車時、車両・ホッパーが動き出し接触する	○	×	3	必ず二名以上で互いに確認をしながら洗車する	○	○	1
	点検	車両各部・燃料等の点検・確認を行う	車両点検表に則って	清掃時着脱した部品が走行中に落下し、第三者被害となる	△	×	4	必ず車両チェックリストに基づき始業前及び使用後に点検を行う	○	○	1
後処理	日報作成	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/	/